



“Dr. ジャン・シーのヒューマンファクター研究室”

No. 29 〈手順の遵守〉

タイトル：作業を一つ一つ確実に！

【事例】

クレーン操作で、本来はいったん静定してから実施すべき手順にもかかわらず、十分に確認する前に次の操作に移ってしまったので、近傍にあった配管の弁にぶつけてしまった。弁から高温蒸気が流出し被害範囲が広がってしまった。

【ヒューマンファクターの視点から】

現場では、色々な作業が輻輳しています。発電所では、一つのミスが他の作業や機器に好ましくない影響を与えるリスクが存在しています。担当する操作がプラントに思わぬ影響を与えることも考慮して、手順を順守しましょう。どのような操作においても、基本に忠実にステップバイステップで確実に作業を実施するように注意することが肝要です。

操作では、一旦停止し静定するまで待機する、あるいは順番に進めることが要求されるなど様々な操作の手順が存在します。今回の事例は、クレーン操作のために静定が必要なケースでしたが、その他にも様々な手順に絡んだ操作の誤りが起こりえます。このような場合の対策として、個別のエラーの対策を手順書に追加するのでは、手順書の複雑化、手順の煩雑化を招く恐れがあります。そうではなく、手順実施に広く有効なヒューマンパフォーマンス向上ツールの一つである STAR (Stop-Think-Act-Review) の利用の徹底を現場に植え付けることが有効です。各組織においては、ヒューマンパフォーマンス向上ツールの有効性と重要性を認識し、多くのツールの中から課題となるヒューマンエラーの対策として適切なツールを選択し、活用を図ることがエラー低減に有効です。STAR の本来の意義は、手順の意味を考えて一つ一つのステップを確認しながら進めることです。

気になる個所ではヒューマンパフォーマンス向上ツールの利用を周知徹底しましょう！